

レジメン名

Elranatamab

出典 エルレフィオ皮下注適正使用ガイド

実施部署区分

■入院：初回投与(12mg)後48時間、2回目の投与(32mg)後24時間は必ず入院
■外来 □処置

投与減量の基準

副作用等の理由による休業後に再開する場合、下表を参考に投与すること

休業直前の 用量	休業期間	再開時の用量
12mg	2週間(14日)以内の休業	4日目の投与量(32mg)で投与する。*
	2週間(14日)を超える休業	1日目の投与量(12mg)で投与する。*
32mg	2週間(14日)以内の休業	8日目の投与量(76mg)で投与する。*
	2週間を超え4週間以内(15-28日)の休業	32mgで投与する。* 悪毒性が認められた場合には1週間後に76mgを投与する。*
	4週間(28日)を超える休業	1日目の投与量(12mg)で投与する。*
76mg	6週間(42日)以内の休業	76mgで投与する。
	6週間を超え12週間以内(43-84日)の休業	32mgで投与する。* 悪毒性が認められた場合には1週間後に76mgを投与する。*
	12週間(84日)を超える休業	1日目の投与量(12mg)で投与する。*

*再開時は、前投薬を投与

投与中止の基準

ANC Hb	500/mm ³ 未満 8g/dL未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満 2.5～5万/mm ³ の間で 出血を伴う場合
その他	FN、Grade1以上のサイトカイン放出症候群(CRS) ** 免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)発現時は、回復するまで休業する。Grade3(再発)又はGrade4の場合は、投与を中止する。 Grade3以上の非血液学的毒性発現時にはGrade1以下またはベースラインに回復するまで休業する。回復しない場合は投与を中止する。 **CRS出現時はCRSガイドラインに従う		

1クール期間

28

総クール数

PD

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
エルラナタマブ(エルレフィオ)	12mg	皮下※1		day1(1サイクル)
エルラナタマブ(エルレフィオ)	32mg	皮下※1		day4(1サイクル)
エルラナタマブ(エルレフィオ)	76mg	皮下※1		day8、15、22(1サイクル)
エルラナタマブ(エルレフィオ)	76mg	皮下※1		day1、8、15、22(2-6サイクル)
エルラナタマブ(エルレフィオ)	76mg	皮下※1		day1、15(7サイクル以降)
※1 注射部位は左右腹部に各最大1箇所ずつ、最大2箇所が推奨。左→右の順に行う。腹部に注射できない場合は大腿部を選択し、いくつか場所を変えて注射する。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
1サイクル day1、4、8、 * <内服・前投薬>エルレフィオ投与1時間前 ・レナデックス(4)5T ・アセトアミノフェン(200)4T ・ボラミン(2)1T <皮下注> day1 エルレフィオ12mg day4 エルレフィオ32mg day8、15、22 エルレフィオ76mg 2-6サイクル day1、8、15、22 <皮下注> エルレフィオ76mg 7サイクル以降 day1、15 <皮下注> エルレフィオ76mg